

社会学研究法 a

「回帰分析 追加配布資料」

(「中高年の幸福感についての意識調査」の一部)

- ・ 2005年10月31日現在、東大阪市在住で、40～59歳の男女
- ・ 市内の地域を一次抽出単位とする二段無作為抽出
- ・ 郵送調査法
- ・ 計画標本700人、回収標本246人（回収率35.1%）

<p>あなたの自身のことについておたずねします</p> <p>問1 あなたは男性ですか、女性ですか。</p> <p>1 男性 2 女性</p> <p>問2 あなたの年齢を教えてください。</p> <p style="text-align: center;">□ 歳</p> <p>問3 次のことがらは、あなたの幸せを左右する上で、どれくらい重要だと思いますか。(a)～(h)のそれぞれについてお答えください。</p> <p>(a) 家族との関係</p> <p>1 極めて重要 2 とても重要 3 ある程度重要 4 少しは重要 5 重要でない</p> <p>(b) 健康</p> <p>1 極めて重要 2 とても重要 3 ある程度重要 4 少しは重要 5 重要でない</p> <p>(c) 家計の状態</p> <p>1 極めて重要 2 とても重要 3 ある程度重要 4 少しは重要 5 重要でない</p>	<p>(d) 仕事</p> <p>1 極めて重要 2 とても重要 3 ある程度重要 4 少しは重要 5 重要でない 6 仕事はしていない</p> <p>(e) 余暇の過ごし方</p> <p>1 極めて重要 2 とても重要 3 ある程度重要 4 少しは重要 5 重要でない</p> <p>(f) 容姿</p> <p>1 極めて重要 2 とても重要 3 ある程度重要 4 少しは重要 5 重要でない</p> <p>(g) 住む地域</p> <p>1 極めて重要 2 とても重要 3 ある程度重要 4 少しは重要 5 重要でない</p> <p>(h) 国の政策</p> <p>1 極めて重要 2 とても重要 3 ある程度重要 4 少しは重要 5 重要でない</p>	<p>あなたの性格や特徴についておたずねします</p> <p>問31 次のことがらについて、あなたは同年代の人々と比べて、どれくらい自信がありますか。(a)～(e)のそれぞれについてお答えください。</p> <p>(a) 体力</p> <p>1 自信がある 2 どちらかといえば自信がある 3 どちらかといえば自信がない 4 自信がない</p> <p>(b) 頭のよさ</p> <p>1 自信がある 2 どちらかといえば自信がある 3 どちらかといえば自信がない 4 自信がない</p> <p>(c) 手先の器用さ</p> <p>1 自信がある 2 どちらかといえば自信がある 3 どちらかといえば自信がない 4 自信がない</p> <p>(d) 容姿</p> <p>1 自信がある 2 どちらかといえば自信がある 3 どちらかといえば自信がない 4 自信がない</p> <p>(e) 性格</p> <p>1 自信がある 2 どちらかといえば自信がある 3 どちらかといえば自信がない 4 自信がない</p>
---	---	--

\*\*\* 小課題 \*\*\*

Web ページ (<http://www2.itc.kansai-u.ac.jp/~tyasuda/>) から「小課題用データ」をダウンロードして、「容姿を重視する程度」を従属変数として回帰分析を行ない、「小課題提出ファイル」のレポートを完成させなさい。(12月4日提出、1週遅れも減点で受け付けます)

■ (参考) 関連する SPSS の操作

リコーディング (値の再割り当て)

リコーディングは、既存の変数の数値 (コード) を新しいルールで置き換えて、新しい

変数を作る作業である。一般に、調査データの分析を実践するためには、極めて頻繁にリコーディングが必要になる。リコーディングは、主に2つの場面で用いられる。

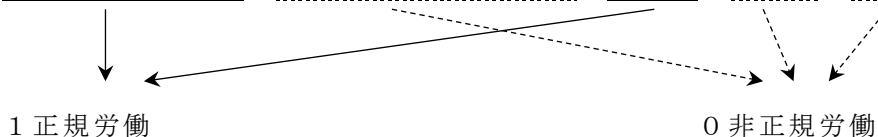
①既存のコードを数量として扱いやすいコードに置き換える（とくに大小の逆転）。

例) 1 満足 2 やや満足 3 やや不満 4 不満


→ 4 満足 3 やや満足 2 やや不満 1 不満 (この方が結果が読みやすい)

②既存の細かいコードを、必要十分な大まかな分類でくくり直す。

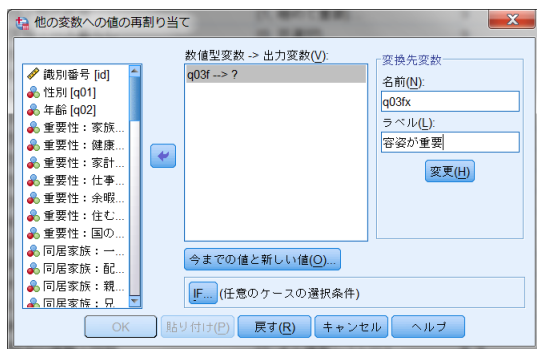
例) 1 フルタイム雇用 2 パート・アルバイト 3 自営 4 派遣 5 内職




①メニューから、変換→ 他の変数へ値の再割り当て

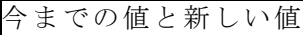
②リコーディングをしたい変数を左から選択して  ボタン


(※複数の変数を同じルールでリコーディングする場合は、複数選択)



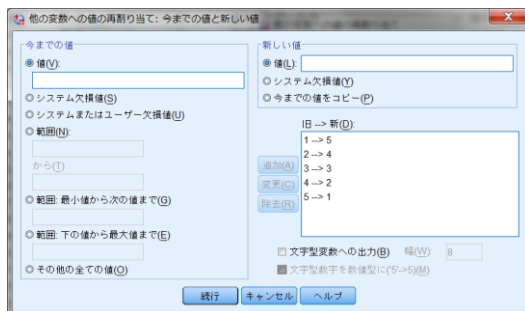
③リコーディング後の新変数の [名前] と [ラベル] を入力して、 ボタン


(※名前はアルファベットの形式変数名、ラベルは変数の内容がわかる日本語)

④  ボタンで変換ルールの窓を開く


⑤1つ1つの変換ルールについて [今までの値] と [新しい値] を入力して  ボタン

(※ルールの数だけ、これを繰り返す)



⑥すべてのルールがそろったら  ボタン

(※値を変更しない場合でも、ルールを入れないと空データになるので、必ず全部指定)

⑦元の窓で  ボタン

⑧リコーディングで作成された 新しい変数 を使って、やりたかった分析を行なう

## ■（参考）回帰分析の結果の表現

回帰分析の結果はふつう 1 つの表で表現される。SPSS のアウトプットをそのまま貼り付けるのではなく、重要な情報だけを整理しよう。

SPSS のアウトプット

モデル要約				
モデル	R	R2 乗	調整済み R2 乗	推定値の標準誤差
1	.568 <sup>a</sup>	.322	.283	81807.816

a. 予測値: (定数)、op5schpf 中学3年生の頃の成績, ageb 年齢, xjobyr 勤続年数。

分散分析 <sup>a</sup>						
モデル		平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
1	回帰	1.656E+11	3	55195002905	8.247	.000 <sup>b</sup>
	残差	3.480E+11	52	6692518720		
	合計	5.136E+11	55			

a. 従属変数 szpaymox 月給  
b. 予測値: (定数)、op5schpf 中学3年生の頃の成績, ageb 年齢, xjobyr 勤続年数。

係数 <sup>a</sup>						
モデル		標準化されていない係数		標準化係数	t 値	有意確率
		B	標準誤差	ベータ		
1	(定数)	-18553.808	151096.766		-.123	.903
	ageb 年齢	1620.406	3997.425	.046	.405	.687
	xjobyr 勤続年数	6772.435	1925.550	.409	3.517	.001
	op5schpf 中学3年生の頃の成績	33703.636	12112.178	.325	2.783	.007

a. 従属変数 szpaymox 月給

↓

表 1 30 代女性の月給についての回帰分析の結果 [詳細な表記の例]

	回帰係数	t	p
定数	-18553.81	-.123	.903
年齢	1620.41	.405	.687
勤続年数	6772.44	3.517	.001
中 3 時の成績 [1-5]	33703.64	2.783	.007

「p 値」「有意確率」  
などでも OK

「t 値」でも OK

SPSS の出力で有意確率が「.000」とのときは、.001 より小さいという意味なので、ふつう「<.001」と表現

n=56、調整済み R<sup>2</sup>=.283、F=8.247、p<.001

表 2 30 代女性の月給についての回帰分析の結果 [簡単な表記の例]

	回帰係数
定数	-18553.81
年齢	1620.41
勤続年数	6772.44 ***
中 3 時の成績 [1-5]	33703.64 **

有意確率 (p 値) が 5%、1%、0.1% 未満のそれぞれの水準をクリアしていたら、\*印の数を増やす (星が多いほど統計的な有意性が保証される)。10% 水準をクリアしていれば有意な「傾向」があるものとして、「+」や「↑」(ダガー) の記号を使うこともある。

n=56、調整済み R<sup>2</sup>=.283 \*\*\*

\* p<.05, \*\* p<.01, \*\*\* p<.001